

GWI update 2月19日号

GWI は間近に迫った第64回女性の地位委員会に備える

2020年3月9日から20日までニューヨークの国連本部で開催される第64回女性の地位委員会(CSW64)にGWI理事会、会員、各国協会とスタッフが参加する。北京宣言と行動綱領(BPfA)の採択から25周年を迎えて、この節目は歴史的な意義を持つ。第64回女性の地位委員会(CSW64)は、1995年の採択以来の北京宣言と行動綱領(BPfA)の進捗状況の見直しを中心に行う。世界中から11,000人以上の登録者が参加する画期的な会議は、男女平等と女性のエンパワーメントに関する今日最も顕著な課題について世界的な認識を高める機会となる。CSW64への参加を促すために、GWIは3月11日に、女性国連報告書ネットワークWomen's United Nations Report Network(WUNRN)と共に、「女性と違法行為～根本原因と女性の可能性に与える影響」をテーマにパラレルイベントを主催する。(男性よりも)女性に影響を偏って与えるジェンダーに基づく問題としての違法行為の原因と影響に焦点を当てる。そのパネルディスカッションはジェンダーに基づく違法行為を北京宣言と行動綱領(BPfA)および国連の持続可能な開発目標(SDGs)に関連付けるものとなるであろう。カナダ大学女性連盟(CFUW)とアメリカ大卒女性協会(WG-USA)もまた、パラレルイベントを主催する予定である。

GWI update 2月5日号

BFWG、第1回フェミニスト・女性運動行動計画会議に出席

2019年11月5日、英国大卒女性連盟(BFWG)のSudha Srivastava編集長が第1回フェミニスト・女性運動行動計画バーチャルカンファレンスに出席した。女性の権利に関して、プロとして独立して活躍している専門家の世界的な顔ぶれの中に、紛争下の性的暴力担当国連事務総長特別代表であり、かつ国連女性差別撤廃委員会(CEDAW)の元委員であるPramila Pattenとラトガーズ大学の女性のグローバルリーダーシップセンターのエグゼクティブディレクター、Krishanti Dharmarajと、プログラム・アンド・グローバル・アドボカシーでシニアディレクターを務めるMelissa Upretiが含まれていた。パネリストらは、1995年北京行動綱領と背景を強調した後、人権、気候変動、健康、平和と安全に関するパネルディスカッションを行った。参加者は、情報を提供され、熱意も新たに、短期目標の先の長期的なコミットメントに目を向けることを約束して、会議を終えた。

(CSW64は新型コロナウイルスの世界的拡大のため、期間・規模とも大幅に縮小されました)